

奈良女子大学大学院工学系教員（助教）のテニユア審査基準

材料工学エリア

奈良女子大学大学院工学系教員（助教）の材料工学エリアにおけるテニユア審査基準については、次の通り定める。

奈良女子大学テニユアトラック制に関する審査基準要項第3条に定める「教育」、「研究」、「社会連携」、「管理・運営等」のうち、以下の3項目について、全ての必須条件を満たし、かつ、いずれかの項目において顕著と認められる業績・実績を有すること。ただし、必須条件に達しない項目があっても、その他特筆すべき事項がある場合には、審査において考慮する。

【必須条件】

1. 教育

工学部工学科カリキュラム記載の科目の講義、演習、実験などを担当し、かつ、所属教育研究分野で学生の研究指導、学術論文・学位論文執筆の適切な助言指導を行っている。

2. 研究

採用後4年経過時点で、分野の主要な学術誌に3報以上、主たる貢献をした論文が掲載または掲載決定されている。

3. 管理・運営等（全学および学系への貢献）

全学および学系の管理・運営に積極的に参画している。教育研究分野の管理・運営を、同分野に所属する他教員と協力して主体的に行っている。